

ほし組だより

2月号

令和2年2月1日(月)
尚徳福祉会 井荻保育園



梅のつぼみも少しずつ膨らみ始めました。本格的な春が待ち遠しいですね。ほし組は元気いっぱい過ごしています。最近、着替えや靴を履いたり身の回りの事を自分でやろうとしたりする姿が見られ、日々成長を感じます。散歩では、井草八幡宮やけやき公園、園周辺等、グループ毎に分かれて行っています。井草八幡宮では探索活動が楽しいようで、落ち葉を集めたり、石を見つけたり、バス通りまで行きバスを見つけて「どこへ行くのかな」と友だち同士で会話。興味の幅が広がってきました。今年度も残り2カ月、コロナ禍ではありますが元気に過ごせることを願います。



2月のわらい

- ・室内外の気温差、感染症対策に留意してもらいながら健康に過ごす。
- ・安全面に配慮された環境の中で、活発に動いて遊ぶ。



今月の歌・ふれあい遊び

- ・おにのパンツ
- ・豆まき
- ・雪
- ・ふしぎなポケット
- ・ぎっこんぱっこん
- ・むっくりくまさん

★ほし組の様子★

最近では、友だち同士の関わりを楽しんでいることが多く、友だちと手を繋いで関わる姿が見られます。また園庭ではゆき組さんを見つけると、駆け寄り、お兄さんお姉さん気分でお優しく関わっています。お絵描きやパズルなど机上の遊びも大好きです。友だちが絵を描いていると、「わたし(ぼく)もやりたい」と言い、遊びの輪が自然と広がっていく場面も見られます。

☆ほし組クラスエピソード☆

ある日、おやつを断固として食べたくないと言うAさん。「みんな美味しそうに食べているよ」様々な声を掛けますが食べに来ません。理由を聞くと、「嫌いだから食べないの」「ケーキだったら食べる」と、Aさんなりの理由があるようです。食べてもらいたい思いもありますが、断固として拒むとなると、判断は難しいですが理由があると感じた場面でした。

子どもが泣いたり怒ったり感情的になっている時に、大人が混乱すると、ますます混乱状態になってしまいます。子ども自身がいかに気持ちを鎮め、思い通りにならない状況をどう乗り越えたらいいか考えられるように育てたいものです。2歳頃は、壁にぶつかって思い通りにならない体験(＝葛藤)が多くなる大事な時期です。小さなときから葛藤を体験することはとても大事です。自分の思いがかなう事ばかりでなく、かなわなかった時こそ、大人の温かい支えが必要になっていくと感じます。思いを受け止めつつも、子どもたちにわかりやすく良いことや悪いことを伝えていきたいです。